「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」

Ⅱ 稲発酵粕飼料の生産

- 2 低コスト栽培
- (6)農薬使用

① 病害虫防除

抵抗性品種の導入や病害虫発生予察を活用した的確な防除対策を基本とし、病害虫の発生が周辺の食用イネに影響をおよぼさないように配慮しつつ、航空防除の実施地域では作付の団地化を行うなど、防除対策について地域の関係者で十分な協議を行う必要がある。

その際、コスト低減を図るため、病害虫の発生状況を的確に把握し、必要最小限の防除に 努めることが重要である。

なお、稲用に登録されている農薬のうち、①登録時のデータから稲わらへの残留性が十分に低いと認められる農薬や稲わらに残留しても牛の乳汁に検出されないことが確認されている農薬、②平成15年度以降に実施したWCS用イネでの残留性試験や乳汁移行試験により残留性がないと確認された農薬は、以下のとおりである。

農薬による病害虫防除が必要な場合には、これらの中から、都道府県の稲作指導指針等に記載されている農薬を、地域の農業改良普及センターの指導に従って作型や病害虫の発生動向等を踏まえて選定する。農薬の使用に当たっては、当該農薬のラベルに記載されている「収穫〇日前まで」という使用時期の「収穫」をWCS用イネの収穫(黄熟期)にそのまま適用するため、防除可能な期間が食用イネより1週間~10日程度早まることに留意する必要がある。

また、立毛中の稲を利用した放牧についても、本マニュアルに記載された農薬の種類・使用方法に従うこと。

殺虫剤

	農	薬	\mathcal{O}	種	類		
イミダクロプリド水和剤							
イミダクロプリド粒剤							
エトフェンプロックス水和剤	<u> </u>						
エトフェンプロックス乳剤							
エトフェンプロックス粉剤							
エトフェンプロックスマイクロフ	カプセ	ル剤					
エトフェンプロックス粒剤							
エトフェンプロックス・ジノテン	フラン	粉剤					
カルタップ水溶剤							
カルタップ粒剤							
カルボスルファン粒剤							
カルボスルファン・フィプロニ	- ル粒	剤 ※					
クロチアニジン水溶剤							
クロチアニジン水和剤							
クロチアニジン粉剤							
クロチアニジン粒剤							
クロラントラニリプロール粒剤							
クロラントラニリプロール・ジ	ノテフ	ラン粒	剤				

クロラントラニリプロール・ピメトロジン粒剤
クロラントラニリプロール・ベンフラカルブ粒剤
ジノテフラン剤
ジノテフラン液剤
ジノテフラン水溶剤
ジノテフラン粉剤
ジノテフラン粒剤
ジノテフラン・ベンフラカルブ粒剤
スピノサド粒剤
チアメトキサム粒剤
テブフェノジド水和剤
テブフェノジド・ブプロフェジン水和剤
ピメトロジン粒剤
フィプロニル粒剤
ブプロフェジン水和剤
ブプロフェジン粉剤
ブプロフェジン・BPMC粉剤(有効成分含有量がブプロフェジン1%(以下)の農薬に限る)
ベンフラカルブ粒剤
燐酸第二鉄粒剤
BPMC乳剤
BPMC粉剤
BPMC・MEP粉剤
MEP乳剤
MEP粉剤
ME Pマイクロカプセル剤

注)※については平成27年5月追加。

殺菌剤

	農	薬	の	種	類		
アゾキシストロビン水和剤							
アゾキシストロビン粒剤							
イソチアニル粒剤							
イソプロチオラン水和剤							
イソプロチオラン乳剤							
イソプロチオラン粉剤							
イソプロチオラン粉粒剤							
イソプロチオラン粒剤							
イソプロチオラン・ピロキロン	/粒剤						
イソプロチオラン・フルトラコ	ル粒剤	J					
イプコナゾール水和剤							
イプコナゾール・銅水和剤							
オキソリニック酸水和剤							
オキソリニック酸・プロクロ	ラズ水	和剤	*				
オリサストロビン粒剤							
タラロマイセス フラバス水利	口剤					·	·
チウラム水和剤							

チウラム・ベノミル水和剤 チウラム・ペフラゾエート水和剤 銅粉剤 銅・フルジオキソニル・ペフラゾエート水和剤 トリコデルマ アトロビリデ水和剤 トリフルミゾール水和剤 トリフルミゾール乳剤 バチルス シンプレクス水和剤 バチルス ズブチリス水和剤 ヒドロキシイソキサゾール液剤 ヒドロキシイソキサゾール粉剤 ピロキロン粒剤 フェノキサニル粉剤 フェノキサニルマイクロカプセル剤 フサライド水和剤(フロアブル剤に限る。地上散布は1000~1500倍に限る) フラメトピル粒剤 フラメトピル・プロベナゾール粒剤 フルジオキソニル水和剤 フルジオキソニル・ペフラゾエート乳剤 フルトラニル水和剤(有効成分含有量が20%フロアブルの農薬で300倍以上の施用量の使用方法 かつ空中散布及び無人ヘリコプターによる散布であるものを除く) フルトラニル乳剤 フルトラニル粉剤 フルトラニル粒剤 プロクロラズ乳剤 プロベナゾール粒剤 プロベナゾール粉粒剤 プロベナゾール水和剤 ベノミル水和剤

ペフラゾエート乳剤

メプロニル水和剤 (ただし地上通常散布に限る)

TPN水和剤

TPN粉剤

注) ※については平成27年5月追加。

ᄿᄭᆞᆛᅟᄿᄭᆞᆛᆍᅟᅷᆟ

_ 殺虫殺菌剤
農薬の種類
イミダクロプリド・イソチアニル粒剤
イミダクロプリド・クロラントラニリプロール・イソチアニル粒剤
イミダクロプリド・フィプロニル・オリサストロビン粒剤
エトフェンプロックス・ピロキロン粒剤
カルボスルファン・プロベナゾール粒剤
クロチアニジン・イソチアニル水和剤
クロチアニジン・イソチアニル粒剤
クロチアニジン・オリサストロビン粒剤
クロチアニジン・クロラントラニリプロール・イソチアニル粒剤

クロチアニジン・クロラントラニリプロール・イソチアニル・フラメトピル粒剤 クロチアニジン・ピロキロン粒剤 クロチアニジン・フサライド水和剤 クロチアニジン・フラメトピル粒剤 クロチアニジン・プロベナゾール水和剤 クロチアニジン・プロベナゾール粒剤 クロラントラニリプロール・イソプロチオラン粒剤 クロラントラニリプロール・ジノテフラン・プロベナゾール粒剤 クロラントラニリプロール・ピメトロジン・ピロキロン粒剤 クロラントラニリプロール・ピメトロジン・プロベナゾール粒剤 クロラントラニリプロール・プロベナゾール粒剤 クロラントラニリプロール・ベンフラカルブ・プロベナゾール粒剤 ジノテフラン・オリサストロビン粒剤 ジノテフラン・フィプロニル・プロベナゾール粒剤 ジノテフラン・ピロキロン粒剤 ジノテフラン・プロベナゾール粒剤 ジノテフラン・プロベナゾール水和剤 チアメトキサム・ピロキロン粒剤 ピメトロジン・フィプロニル・オリサストロビン粒剤 ピメトロジン・フィプロニル・プロベナゾール粒剤 フィプロニル・アゾキシストロビン粒剤 フィプロニル・イソプロチオラン粒剤 フィプロニル・イソプロチオラン・ピロキロン粒剤 フィプロニル・オリサストロビン粒剤 フィプロニル・オリサストロビン・プロベナゾール粒剤 フィプロニル・プロベナゾール粒剤 ベンフラカルブ・プロベナゾール粒剤

農薬肥料

	農	薬	\mathcal{O}	種	類	
ウニコナゾールP複合肥料						
プロベナゾール複合肥料						

植物成長調整剤

	農	薬	の	種	類		
ウニコナゾールP液剤							
ウニコナゾールP粒剤							
過酸化カルシウム粉粒剤							

② 雑草防除

WCS用イネにノビエ等の雑草が混入した場合、水分含量の相違等から品質が低下するため、雑草防除を的確に行う必要がある。特に、直播栽培を導入する場合には、雑草が繁茂しやすいので、初期の雑草防除が重要である。

稲用に登録されている農薬のうち、直播水稲への適用があり、①登録時のデータから稲わ

らへの残留性が十分低いことが認められる農薬、②平成15年度以降に実施したWCS用イネでの残留性試験等により残留性がないと確認されている農薬は以下のとおりである。

除草剤を使用する場合には、これらの中から、都道府県の稲作指導指針等に記載されている農薬を、地域の農業改良普及センターの指導に従って作型や雑草の発生動向等を踏まえて選定する。除草剤の使用に当たっては、病害虫防除と同様に、農薬のラベルに記載されている「収穫〇日前まで」という使用時期の「収穫」をWCS用イネの収穫(黄熟期)にそのまま適用するため、防除可能な期間が食用イネより1週間~10日程度早まることに留意する必要がある。

また、立毛中の稲を利用した放牧についても、本マニュアルに記載された農薬の種類・使用方法に従うこと。

除草剤(直播栽培に適用できるもの) 農薬 \mathcal{O} 種 類 イマゾスルフロン・エトベンザニド・ダイムロン粒剤 イマゾスルフロン・オキサジクロメホン・クロメプロップ・ダイムロン水和剤 イマゾスルフロン・ピリミノバックメチル・ブロモブチド粒剤 イマゾスルフロン・ピラクロニル・ブロモブチド水和剤 イマゾスルフロン・ピラクロニル・ブロモブチド粒剤 イマゾスルフロン・フェントラザミド・ブロモブチド粒剤 オキサジクロメホン・クロメプロップ・ダイムロン・ベンスルフロンメチル粒剤 ※ オキサジクロメホン・クロメプロップ・ベンスルフロンメチル水和剤 カフェンストロール・ダイムロン・ベンスルフロンメチル水和剤 カルフェントラゾンエチル・フルセトスルフロン粒剤 グリホサートアンモニウム塩液剤 グリホサートイソプロピルアミン塩液剤 グリホサートカリウム塩液剤 ジクワット・パラコート液剤 シハロホップブチル乳剤 シハロホップブチル粒剤 シハロホップブチル・シメトリン・ベンフレセート・MCPB粒剤 シハロホップブチル・ピラゾスルフロンエチル・メフェナセット粒剤 シハロホップブチル・ベンタゾン液剤 シメトリン・ペノキススラム・MCPB粒剤 シメトリン・モリネート粒剤 シメトリン・モリネート・MCPB粒剤 ダイムロン・ペノキススラム粒剤 ダイムロン・ベンスルフロンメチル・メフェナセット粒剤 ダイムロン・ペントキサゾン水和剤 トリフルラリン乳剤 トリフルラリン粒剤

ピラゾキシフェン粒剤 ピラゾスルフロンエチル·フェントラザミド粒剤

ピラクロニル・プロピリスルフロン粒剤

ビスピリバックナトリウム塩液剤

ピラクロニル水和剤 ピラクロニル粒剤

ピラゾレート粒剤
ピラゾレート・プロピリスルフロン粒剤
ピリミスルファン剤
ピリミスルファン粒剤
ピリミスルファン・メフェナセット剤
ピリミスルファン・メフェナセット粒剤
ピリミノバックメチル・ブロモブチド・ベンスルフロンメチル・ペントキサゾン粒剤
ピリミノバックメチル・ベンスルフロンメチル・メフェナセット粒剤
ペノキススラム水和剤
ベンタゾン液剤
ベンタゾン粒剤
モリネート粒剤
ACN粒剤

注)※については平成27年5月追加。

稲用に登録されている農薬のうち、移植水稲への適用があり、平成15年度以降に実施したWCS用イネでの残留性試験等により残留性がないと確認されている農薬は以下のとおりである。

除草剤を使用する場合には、これらの中から、都道府県の稲作指導指針等に記載されている農薬を、地域の農業改良普及センターの指導に従って作型や雑草の発生動向等を踏まえて 選定する。

除草剤 (移植栽培に適用できるもの)

農薬の種類
イマゾスルフロン・エトベンザニド・ダイムロン粒剤
イマゾスルフロン・オキサジクロメホン・クロメプロップ・ダイムロン水和剤
イマゾスルフロン・オキサジクロメホン・ダイムロン水和剤
イマゾスルフロン・オキサジクロメホン・ピラクロニル水和剤
イマゾスルフロン・オキサジクロメホン・ピラクロニル粒剤
イマゾスルフロン・カフェンストロール・ダイムロン粒剤
イマゾスルフロン・ダイムロン・ペントキサゾン水和剤
イマゾスルフロン・ダイムロン・ペントキサゾン粒剤
イマゾスルフロン・ピリミノバックメチル・ブロモブチド粒剤
イマゾスルフロン・ピラクロニル・ブロモブチド水和剤
イマゾスルフロン・ピラクロニル・ブロモブチド粒剤
イマゾスルフロン・フェントラザミド・ブロモブチド粒剤
インダノファン・クロメプロップ・ベンスルフロンメチル粒剤
オキサジクロメホン・クロメプロップ・ダイムロン・ベンスルフロンメチル粒剤 ※
オキサジクロメホン・クロメプロップ・ピリミノバックメチル・ベンスルフロンメチル剤
オキサジクロメホン・クロメプロップ・ベンスルフロンメチル水和剤
オキサジクロメホン・ピリミスルファン剤
オキサジクロメホン・ピリミスルファン粒剤(有効成分含有量がオキサジクロメホン0.6%(以下)の農薬に限る
カフェンストロール・シクロスルファムロン・ダイムロン粒剤
カフェンストロール・シハロホップブチル・ダイムロン・ベンスルフロンメチル水和剤
カフェンストロール・シハロホップブチル・ダイムロン・ベンスルフロンメチル粒剤
カフェンストロール・ダイムロン・ベンスルフロンメチル水和剤

カフェンストロール・ダイムロン・ベンスルフロンメチル粒剤 カフェンストロール・ダイムロン・ベンスルフロンメチル・ペントキサゾン水和剤 カフェンストロール・ダイムロン・メタゾスルフロン水和剤 カフェンストロール・ダイムロン・メタゾスルフロン粒剤 カフェンストロール・ピラゾスルフロンエチル水和剤 カルフェントラゾンエチル・フルセトスルフロン粒剤 グリホサートアンモニウム塩液剤 グリホサートイソプロピルアミン塩液剤 グリホサートカリウム塩液剤 シクロスルファムロン粒剤 シクロスルファムロン・ダイムロン・フェントラザミド粒剤 ※ シクロスルファムロン・プレチラクロール粒剤 ジクワット・パラコート液剤 シハロホップブチル乳剤 シハロホップブチル粒剤 シハロホップブチル・シメトリン・ベンフレセート・MCPB粒剤 シハロホップブチル・ピラゾスルフロンエチル・メフェナセット粒剤 シハロホップブチル・ベンタゾン液剤 シメトリン・ピラゾキシフェン・プレチラクロール粒剤 シメトリン・ペノキススラム・MCPB粒剤 シメトリン・ベンフレセート・MCPB粒剤 シメトリン・メフェナセット・MCPB粒剤 シメトリン・モリネート粒剤 シメトリン・モリネート・MCPB粒剤 シメトリン・ACN・MCPB粒剤 シメトリン・MCPB粒剤 ダイムロン・ピラクロニル・メタゾスルフロン水和剤 ダイムロン・ピラクロニル・メタゾスルフロン粒剤 ダイムロン・ペノキススラム粒剤 ダイムロン・ベンスルフロンメチル・メフェナセット粒剤 ダイムロン・ペントキサゾン水和剤 ダイムロン・ペントキサゾン粒剤 ダイムロン・ペントキサゾン・メタゾスルフロン粒剤 ダイムロン・メタゾスルフロン水和剤 ダイムロン・メタゾスルフロン粒剤 ドレクスレラ モノセラス剤 ビスピリバックナトリウム塩液剤 ピラクロニル水和剤 ピラクロニル粒剤 ピラクロニル・ピラゾレート・ベンフレセート粒剤 ピラクロニル・プロピリスルフロン水和剤 ピラクロニル・プロピリスルフロン粒剤 ピラゾキシフェン・プレチラクロール粒剤(ただし、ピラゾキシフェン含有量が6%(以下)の製剤に限る) ピラゾスルフロンエチル粒剤 ピラゾスルフロンエチル・フェントラザミド水和剤 ピラゾスルフロンエチル・フェントラザミド粒剤 ピラゾスルフロンエチル・モリネート粒剤

ピラゾレート粒剤
ピラゾレート・フェントラザミド・ベンフレセート水和剤 ※
ピラゾレート・フェントラザミド・ベンフレセート粒剤 ※
ピラゾレート・プロピリスルフロン水和剤
ピラゾレート・プロピリスルフロン粒剤
ピラゾレート・ペントキサゾン水和剤
ピリミスルファン剤
ピリミスルファン粒剤
ピリミスルファン・フェントラザミド剤 ※
ピリミスルファン・フェントラザミド粒剤 ※
ピリミスルファン・メフェナセット剤
ピリミスルファン・メフェナセット粒剤
ピリミノバックメチル・ブロモブチド・ベンスルフロンメチル・ペントキサゾン粒剤
プレチラクロール粒剤
プロピリスルフロン水和剤
プロピリスルフロン粒剤
ペノキススラム水和剤
ベンスルフロンメチル・ベンチオカーブ・メフェナセット粒剤
ベンタゾン液剤
ベンタゾン粒剤
ペントキサゾン水和剤
ペントキサゾン粒剤
ペントキサゾン・ACN水和剤
ベンフレセート粒剤
モリネート粒剤
ACN粒剤

注) ※については平成27年5月追加。